

## 刊 行 の 辞

私どもの研究室の主任教官であられた牧証名教授は、本年3月をもってめでたく健康なお体で定年退官された。

牧教授は、本学に着任以来、研究と教育に従事されつつ、附属学校長、政府ならびに自治体の審議会委員、京都大学ほかの非常勤講師などの要職を勤められたほか、いわゆる子どもの人権にかかわって理論上ならびに実践上のリーダーシップを発揮されるなど、学内外に大きな足跡を残された。

私どもは、これまでに、多くの方のご協力をえて、牧証名教授の最終講義、小冊子「牧証名教授のこれまでの《仕事》」の刊行、退官記念パーティーの挙行など、一連の退官記念行事の実施にとりくんできた。この機会に、ご協力をいただいたすべての方々に、あらためて厚くお礼を申し上げます。

私どもは、この一連の行事のしめくくりとして、牧教授の業績をたたえ、そこから深く批判的に学ぶ気持ちをこめて、ここに研究室紀要第10号《牧証名教授退官記念号》を刊行する。

記念すべき本号に玉稿をおよせいただいた一橋大学藤岡貞彦教授とそのグループの方々に、記して感謝の気持ちを表すものである。3ヶ年にわたり私どもをご指導いただいたことに対しても、かさねてお礼を申し上げます。

本号に収められている研究室メンバーの論文に対するご批判をはじめ、私どもへの相変わらぬご指導、ご援助を心からお願い申し上げます次第である。

最後に、牧証名教授の益々のご活躍を祈念して、刊行の辞とする。

1990年5月7日

東京大学教育学部教育行政学研究室を代表して

浦野東洋一